

読んでみたい本 児童文学評論家・藤田のぼる

絵本

『丘のうえのいっぼんの木に』
(今森光彦・作、童心社)

里山が舞台の多くの写真絵本でわたしたちを魅了してきた作者が、切り絵で自然の世界を表現しました。一本のエノキが作品の舞台にして主人公。もう一方の主人公がオオムラサキで、エノキに産みつけられた幼虫が、やがてさなぎとなり、そこから蝶が現れます。その生命の営みが、白と黒のコントラストで描かれています。カラーは巻末の解説と表紙の題字だけ。ゆっくりじっくり味わいたい絵本です。(低・中学年以上向き、1400円+税)



『しょうぎはじめました』
(間部香代・文、田中六大・絵、文研出版)

藤井聡太七段の活躍で、小中学生の将棋人口が増えたと聞きますが、これは物語仕立ての将棋入門絵本。学童クラブで将棋に触れた主人公が、父親やおじいちゃんの手ほどきで腕を上げていきます。作者の間部さんは、将棋好きのお父さんが「香車」にちなんで名前をつけたというほどの生え抜き。子ども一人でこの絵本からルールを会得するのはちょっと難しいかもしれませんが、親子で、教室で、将棋に親しんでいくための、絶好の手引きとなりそうです。(低・中学年から、1400円+税)



低・中学年向け

『おじいさんは川へ おばあさんは山へ』
(森山京・作、ささめやゆき・絵、理論社)

ある日、おじいさんは川に、おばあさんは山へ出かけました。川に向かったおじいさんは、子どもたちにいじめられていたかめを助け、山へ行ったおばあさんは木にかかった羽衣を見つけ……という具合に、二人は次々に他の昔話の世界の中に入り込んでいく、というか、渡り歩く展開になります。それをつなぐのが黍団子ならぬ、おばあさんの作った玉子やきというのも楽しい。「きいろいばけつ」などの幼年文学で親しまれた作者の遺作です。(低・中学年以上向き、1300円+税)



『おうちずきん』
(こがしわかおり・作、文研出版)

こちらは表紙に赤い頭巾を被った女の子。「赤ずきん」のパロディーようですが、「おんなのこには、おうちがありません」と始まります。持ち物は古ぼけた頭巾だけ。「おうちがほしいな」とつぶやいた女の子の前に現れたのは、双子のようなおばあさんたち。頭巾に縫いつけてくれたドアを開くと、中はすてきな家。そしてこの家には、次々に楽しいお客さんがやってきます。このあたりの展開は、ラチョフの絵本「てぶくろ」のよう。楽しさに、ほんの少し女の子の切なさも感じられて、不思議な作品世界が味わえます。(低・中学年向き、1200円+税)



*

*

*

*

*

*

*

高学年・中学生向け

『アジアのおはなし、読んでみよう』
(「世界の子どもたち」の会・訳、上嶋恵津子・絵、てらいんく)

児童文学の世界に創作の同人誌はたくさんありますが、「世界の子どもたち」は三十年以上にわたって発行されてきた翻訳の同人誌です。今回「世界の子どもたち」傑作選」と銘打たれたこの本を読んで、本当に傑作だなと思いました。収録されているのはオセアニアを含むアジアの、そして欧米に住むアジア系の人たちの物語18編。「黒い幽霊」はカナダのムスリムの子どもが主人公。全身を黒くめでおおった母親の姿を他の子に見られるのが嫌で、なんとかごまかそうとする男の子。異文化の最前線にいる子どもたちの姿が印象的です。学校の図書



館にぜひ置いてほしい本だと思いました。(高学年以上向き、2200円+税)

『昔はおれと同年だった田中さんとの友情』
(柳月美智子・作、早川世詩男・絵、小峰書店)

公園でスケボーができなくなった拓人たち三人組。近くの神社の前の道はどうかと考えますが、気になるのは管理人のおじいさん。案の定、スケボーを始めた三人の前に現れますが、怒るどころか自分もやってみようというのです。ところが転んで右手を骨折してしまい、拓人たちの親は、スケボー禁止と、一人暮らしの管理人さん(85歳の田中さん)の家に通って身の回りの世話をしよう言い渡します。話してみると意外に気さくな



田中さんは小学校の大先輩で、終戦直前に空襲で母と妹を失い、父と兄も戦死、それからこの地域の寺に預けられたというのです。少年たちと老人の友情という名作『夏の庭』を思い出しますが、こちらはより隣にありそうな設定という感じがして、読者はまわりの「昔は同年」だった人たちに、今までと違った目を見るようになるのではないのでしょうか。(高学年以上向き、1400円+税)

『思いはいのり、言葉はつばさ』
(まはら三桃・作、アリス館)

舞台は中国、近い昔、というぐらゐの時代か。主人公の少女チャオミンは、てん足をしています。そのチャオミンが10歳を迎えた朝から物語が始まります。チャオミンの一つ年上の友だちのジュア



ヌが、街に縫い物を習いに行っており、そこではニューシュ(女書)も教えてくれるというのです。ニューシュとは、女性だけが書く文字で、その不思議な美しさにチャオミンは惹かれます。10歳になったので、ジュアと一緒に通えるのです。縫い物は苦手なチャオミンでしたが、ニューシュの腕は上がっていきます。そして、あこがれのお姉さんであるシューインから、結交姉妹になろうという手紙をもらうのです。結交姉妹とは、血は繋がってなくても特別な結びつきを約束する間柄でした。シューインへの返事が、チャオミンが初めて書いた手紙でした。そのシューインが結婚すると聞き、チャオミンの心は複雑に揺れます。

時代小説ですがファンタジーのような味わいがあり、けれどもこれはあの時代に実際にいたかもしれない少女なのだということが、じわじわと心に響いてくる物語でした。(高学年・中学生以上向き、1400円+税)

ベルマーク寄贈者・友愛援助リスト(敬称略)

〈震災寄贈〉 8月21日～9月20日

宮城県 山口つや子 山形県 高橋拓哉 匿名希望 福島県 渡辺静枝 栃木県 赤羽根正子 埼玉県 門岡則子 田原純子 服部由美子 池田大介 匿名希望 千葉県 安藤明美 関田元子 村上陽子 東京都 アートフェンス工業(株) 落合光江 鶴山英己 水ing(株) 江原美紀男 島津順子 高井美穂 日本基督教団小金井緑町教会 廣川美奈 J&J愛をささやく アンジェラ 井上恵里子 内田明美 田口薫 パナソニックシステムソリューションズジャパン(株) J-MOT 神奈川県 ASA二俣川 茅ヶ崎市立円蔵中学校 加藤晶子 加藤容子 伊東孝子 牧田知与 山下陽子 新潟県 太谷真奈美 富山県 池原博子 岐阜県 近藤久美子 静岡県 坂倉理恵子 愛知県 Hawkclaws N.T.T.西日本東海事業本部 久保田詩音 水野陽子 滋賀県 匿名希望 京都府 野田美奈子 織田真理子 中尾幸重 大阪府 岡島和子 奥田亜弥子 荒木秀人、裕治 富岡敦子 山本ゆり香 兵庫県 医療法人社団温新会 岡山県

NPO法人玉島たんぼぼ 香川県 藤澤良子 福岡県 社会福祉法人PAL障害福祉サービス事業所PAL ノブ 熊本県 九州労働金庫労働熊本支部 小西ふじ子 大分県 九州労働金庫大分支部 宮崎県 岩切かおり 損害保険ジャパン日本興亜労働組中部部会 松井恵 Goldwing 無記名=27件

〈一般寄贈〉 8月21日～9月20日

北海道 吉本裕美 佐々木一織 笹原明子 佐藤玲 美唄消費者協会 伊藤咲紀江 NPO法人幹の会 岩手県 鈴木明広 宮城県 山口由紀子 丹治美佳 吉田サオリ 秋田県 鈴木薫 福島県 丹野ルリ子 茨城県 石塚英和 栃木県 長嶋康子 匿名希望 埼玉県 林みさと 新井和行 飯塚幸子 斎藤昭雄 高橋玲子 市川直美 青木宏之 梅田直美 田口飛翔 千葉県 (株)タマチ製作所 宮澤恭子 平山靖子 武井友実 山本昭博 鈴木敏子 菅原金光 東京都 安田昌弘 直江成子 望月育子 岡崎晴美 三菱UFJニコス(株) 奥田尚美 本田美千

代 ヤマト運輸労働西東京支部 杉山大輔 武蔵野ばあば 高田橋千佳子 鈴木和子 塩野公認会計士事務所 原戸伊尚 笠原雅子 太刀川忠良 6etアプリ(株) 朝日新聞東京本社 匿名希望 神奈川県 石黒琢一郎 阿部千栄子 東芝プラントシステム(株) 経理部 IFRS・J-SOX対応推進部 三井住友信託銀行相模大野支店 川崎久美子 森裏久美子 スタンレー電気労働組 岩瀬千都子 新潟県 地域密着型複合施設わしま 田辺加代子 匿名希望 石川県 渡辺順子 長野県 長野県長野高等学校保健委員会 静岡県 清和海運(株) 第四チーム 島中将也 泉谷啓子 西谷朋子 鈴木早苗 アイスター商事代理店西尾悦子 大塚京子 愛知県 刈谷市社会福祉協議会ボランティアグループ一 起会 トヨタ部品愛知共販(株) 志水麻友美 西山光江 新海のぞみ 岡谷コンサルタント(株) 鈴木みつる 敷島製パン労働組 三重県 岡田夏海 アイスター商事代理店川口節子 京都府 大槻一之 野村美恵子 林康子 日本ユネスコ学生連盟 山中朝子 大阪府 荒木妙子 松本

由美子 大西祐子 下山司 安永恒子 出口弥美 アイスター商事代理店田中康子 アズビル(株) アドバンスオートメーションカンパニー 関西支社 好光里子 兵庫県 小野和美 & 電話交換室メンバー 関義雄・幸代 奈良県 杉山成 岡山県 明治安田生命総社営業所 広島県 天野祐子 匿名希望 山口県 山野真理子 成田奈苗 児玉文子 匿名希望 徳島県 武内千都子 香川県 (公財) 高松市国際交流協会 新田喜代美 愛媛県 ベルボラ愛媛 伊藤恵美 長崎県 久保山繁樹 白濱恵子 熊本県 松田澄枝 明治安田生命保険相互会社熊本第二マーケット開発室 松田澄枝 大分県 石堂泰史 鹿児島県 竹内光子 無記名=40件

〈友愛援助申し込み〉 9月1日～9月30日

東京都 聖園幼稚園(文京区) 恵泉女学園中・高(世田谷区) 第六小(小平市) 石川県 美川小(白山市) 兵庫県 安室東小(姫路市) 沖縄県 小緑小(那覇市)